

根拠のICRP揺らぐ

医学界からは疑問の声「しすぎる」と注文を付けも上がる。北海道がんセンター放射線審議会。一体、ICRPの西尾正道院長はどんな組織なのか。

「浅はかなことを言っている。放射線障害防止のためには、内部被ばくは少ないの基準の整合性を図る方がよい。福島経済問題に一九五八年に設置された。昨年九月に東京電問題に科学とは別物で、物理学者が心配するものではない」と批判する。遠藤会長の勤める治療センターの設立に九州電力が資金提供したことを挙げ、「食品基準に物言「一一〇」に緩めうのは利益相反。だいたいの利益を確保。健康軽視」と批判も多いが「ICRPの勧告に基づき」と繰り返す。そのICRPの日本委員八人の中には、「過剰規制」とする。審議会会長の丹羽太良京大名教授ら五人の審議会委員が含まれる。

ICRPは民間の国際学術組織で、科学事務局はカナダ・オタワにある。審議会事務局の文科省担当者は「ICRPは任意団体で、委員が重なることもなく問題はない」と説明する。だが、岐阜環境医学研究所の松井英介所長(放射線医学)は「原子力産業の影を受けてきた団体。基準値案にわざわざ「厳

放射線審からメンバー5人



食品中の放射性セシウムの新基準値を正式決定した厚労省の薬事・食品衛生審議会。2月24日、同省で

体。基準値自体が非常に「マンクソ博士が原発二十九年間で約二万五千危ない」と指摘する。作業員の被ばく限度とし平常時の限度「一年」で提言した数字という。ICRPは、米国のトーマス・セシウム博士の報告は学調査とされる。この中で原発作業員の発がん率は一般よりもぐっと高く「スロー・デス(緩やかな死)」と結論づけた。松井氏は「研究は米原子力委員会によって闇に葬られた。いまだにICRPの低線量被ばくの影響評価が広島・長崎のデータに基づいたものではない。現在ではさすがに「一一〇」以下でも線量とその影響の発症率に比例関係があると仮定」と防護策を勧めている。

「ICRPは二つの歴史的な罪を犯している」と話すのは、内部被ばくに詳しい矢ヶ崎克馬琉球大名教授だ。「一つは公益のために犠牲も仕方がないという功利主義の考えを展開。設立時は健康を守るためだったのが「間もなく原発と核戦略を進める米国防力筋の論理が浸透した」。

もう一つは「内部被ばくの研究を阻んだ」。I

「低線量被ばくデータ排除」

放射線審議会は、その勧告すらも軽視している」と批判されてきた。今後原子力規制庁の所管になるが、松井氏は「事故原因をつつた官僚組織や原子力産業から独立性が保たれない限り、子どもの安全を考えたチェックなどできない。むしろ国会に監視委員会をつくらう」と唱えた。

意見公募で新基準値案が「厳しすぎる」は五十五件。「乳児用食品五〇は過度に安全側の想定」「過大な安全余裕は福島などの復興を阻害」「ICRPの最適化の考えによる基準値を...。一方、二千二百七十件の「より厳しく」「子どもにさらに配慮を」には親たちの真剣な思いが詰まっている。(呂)

本音のコラム



ふるまいよしこ

中国の政治行事、「两会」(全国政治協商会議と全国人民代表大会)が開幕した。その昔、中国がまだ閉鎖的だったころ、開会前夜に政治動向を知るためにその議題を手に入れるべく、北京付きの中国ウオッチャーたち(はしのぎを削った。今ではそんな緊張感は消えた。会議に参加する少数民族代表の「民族衣装ファッションショー」とみなされ、特に今年は女性参加者が身に着ける有名海外ブランド品がネット上で暴かれていた。議場内では「中国独特の...」「伝統的な中国の...」などを枕詞に会議が行われる一方で、きりびやかな西洋ブランドに

うつつを抜かす「名士」たちの「二枚舌」に人々は飽き始めている。まだ十分とは言えないが、中国でもネット普及による情報の公開、透明化によって、人々は政治指導者たちの「裏」を知った。今回注目されたのは、息子をイギリスの貴族学校に送り込みながら、農村の子供には「労働は宝だ」と唱える地方党書記や、国民の道徳ファイルを作り、恥を知る教育を」と提案しつつ、自身は庶民が手も出ないような高級ブランドファッションをまとった女性代表など。中国人が目の前に差し出された情報だけを信じず、何事にも疑心暗鬼になっってしまうのも、こうした「人間社会」を深く知っているからなのだろう。幸か不幸か。(北京在住フリーライター)

二枚舌

地方競馬の平地競走で最多勝タイ記録を持つツモナクカバキチ号(広島県・福山競馬、牡十三歳)が厳しい戦いを続けている。単独最多の五十五勝目を目指してこれまで十二戦し、四着が最高。十二日の競走でも五着に敗

50歳馬あと1勝



地方競馬 単独最多勝へ ツモナクカバキチ号

一番手前がツモナクカバキチ号。栗毛の馬体が美しい。福山市競馬事務局提供

地方競馬の平地競走で最多勝タイ記録を持つツモナクカバキチ号(広島県・福山競馬、牡十三歳)が厳しい戦いを続けている。単独最多の五十五勝目を目指してこれまで十二戦し、四着が最高。十二日の競走でも五着に敗

れた。人間ならもう五十歳。ピークを過ぎているが、元気に走る姿に応援機運も盛り上がり、最近の三戦は一、二番人気に支持された。「何とかあと一勝を」。ファンの願いは届くか。(編集委員・仁賀奈雅行)

実はカバキチ、サラビード化が求められるブレッド(以下サラ)につれ激減。アラ系ではない。アラブとサレの混血、アングロアラ(以下アラ系)とスを最後に国内では実呼ばれる競走馬だ。施されなくなった。気が激しく、けが。〇一年十月に福山でも多いサラに比べ、丈デビュー勝ちしたカバキチ夫なアラ系は戦前、軍キチは、名古屋、荒尾用馬として生産が推奨(熊本県)を転戦、〇された。戦後も地方競八年に福山に戻り、アラ馬の隆盛とともに、年ラ系競馬廃止までに五四千頭が生産された頃十勝を挙げた。その後もあつたが、競馬の力は若いサラに交じって

アングロアラ流のサラブレッドを負かす日本の競馬し、「アラブの怪物」と呼ばれた名馬も誕生したが、昨年は5頭しか生産規定される。かつては一

十一歳で二勝。十二歳の昨年も七月に二勝を加え、高知競馬・エスケープハッチ号(アラ系・引退)の五十四勝に並んだ。それ以来勝ち星から遠ざかっているカバキチだが十二日の競走では二着馬との差は約一馬身。メンバーや展開次第では期待が持てる内容だ。

地方競馬が低迷する中、馬主経済も苦し中、これまで二百五十頭もの競走馬を走らせってきた馬主の綾目康治(アキ)が最後の競走馬とな

「こんなに長く走ってくれた馬もいなかった。記録を更新しても元気がうちは走らせようと思っている。何とか頑張っしてほしい」と話している。



MROラジオ 1183	5.00 あさいち◇10宗教 25 音楽◇角野面◇宗教 6.00 笑顔◇昭輝◇30堀尾 50 音楽◇Q◇健康	KNBラジオ 738	5.00 宗教◇歎異抄◇風物 30 堀尾◇昭輝◇宗教 6.45 笑顔◇Q◇生活便 7.25 氷川◇歌謡曲◇8時	FM石川 80.5 85.5 78.4 89.9 81.9	5.00 オンザジャーナル 6.00 サタ・スポ! 9.00 ドリーム◇15音楽 30 いきものがかりのガ
-------------	---	------------	--	-------------------------------	--

問い合わせ電話番号
WOW
=0120-580-807
Dlife
番組は放送局の都合により変更される場合があります。

根拠のICRP揺らぐ

医学界からは疑問の声「しすぎる」と注文を付けも上がる。北海道がんセンター放射線審議会。一、二の西尾正道院長はどんな組織なのか。

「浅はかなことを言っている。内部被ばくは少ない方のよい。福島の問題は科学とは別物で、物理学者が心配するものではない」と批判する。遠藤会長の勤める治療センターの設立に九州電力が資金提供したことを挙げ、「食品基準に物言うのは利益相反。だいたいの口を出す物理学者は原子力業界で金をもらっている人」と手厳しい。

ICRPの基準を根拠に「過剰規制」とする。健康への影響を研究した論文は、学会誌に載せてもらえない。それでICRPの論文が正しいとされている。新基準値が放射線治療に与える影響については「全く問題はない。患者も医者も効果は被ばくの影響を上回るから」と語った。

だが、岐阜環境医学研究所の松井英介所長（放射線審議会メンバー）は、米国のトーマス・マクレー博士が原発作業員の被ばく限度として提言した数字という。七七年の博士の報告は、低線量被ばくは非常に危険な」と指摘する。

審議会は、年間の被ばく限度量の基準を当面「一〇〇ミリシーベルト」に緩めようの方針を確認。「健康軽視」と批判も多いが「ICRPの勧告に基づいて」と繰り返す。そのICRPの日本委員八人には、大名誉教授ら五人の審議会委員が含まれる。

放射線審からメンバー5人



体。基準値自体が非常に危険な」と指摘する。作業員の被ばく限度として提言した数字という。七七年の博士の報告は、低線量被ばくは非常に危険な」と指摘する。

ICRPは「一〇〇ミリシーベルト以下」のデータを「低線量被ばく」のデータを公的記録に載せないように排除して、内部被ばくの犠牲者を隠してきた。その勧告とは平常時は原発の運転を妨げない限度値を設定し、事故時には各国政府や電力会社の責任を軽くするためのもので、命や健康を第一に考えたものではない」と断じた。

「ICRPは二つの歴史的な罪を犯している」と話すのは、内部被ばくに詳しい矢ヶ崎克馬琉球大名誉教授だ。「一つは公益のために犠牲も仕方がないという功利主義の考えを展開。設立時は健康を守るためだったのが、間もなく原発と核戦略を進める米国権力筋の論理が浸透した」。

「低線量被ばくデータ排除」

放射線審議会は、その勧告すらも軽視していると批判されてきた。今後原子力規制庁の所管になるが、松井氏は「事故原因をつくった官僚組織や原子力産業界から独立性が保たれない限り、子どもの安全を考えたチェックなどできない。むしろ国会に監視委員会をつくった方がいい」と唱えた。

BS logo and other branding elements at the bottom of the page.

お問い合わせ電話番号 WOWOW =0120-580-807 Dlife 番組は放送局の都合により変更される場合があります。